

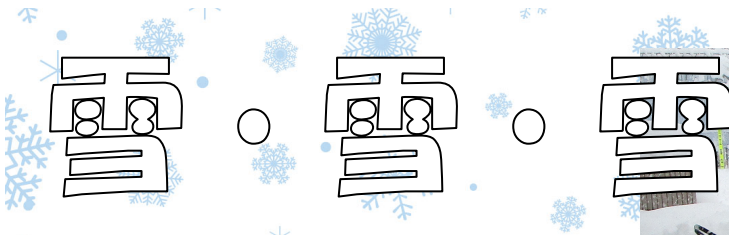
待ちに待った給食
ごはん 大根汁
キャベツメンチカツ
ひじきの炒め煮

ほぼ日刊 夢の華 c' a' r' a' t

第780号

神町中学校 夢色通信社

令和2年12月17日



降り続く雪。大雪だ。やっとの思いで神中に到着。一面の雪だ。いつもの通り、技能士の奥山さんが校門付近の除雪をしてくれている。ありがたい。昇降口前では、本間先生が除雪をしている。そこに大内先生、阿部先生がかけつける。まさに、非常事態宣言だ。ムネ爺も老体にムチ打ち、今日は除雪だ。すると、1年生の女子が自ら除雪をしている姿が目に入る。彼女たちは、昇降口への道を確認するために、校門付近やテニスコート北の道を除雪してくれた。「いつもは除雪した道を通ってくるだけだったけど、こんなに大変だとは思いませんでした。今は除雪してくれている人に感謝です」と、6人（結城彩天奈さん 相澤瑞希さん 加藤美桜さん 佐藤伶さん 太田璃緒さん 芦野瑞姫さん）は口をそろえて語る。そして、一緒に除雪していたムネ爺が足を滑らせ転んだのを見て、大笑いしている。登校してきた生徒会執行部、学級委員会（今日は2年生）、安全委員会の生徒が次々と除雪に加わる。中には、全くのボランティアで参加している人もいるようだ。体育館北側の除雪をしていると、匠先生と太田先生が助けに来てくれた。ありがたい。松浦先生や八城先生、何と事務の岡田先生までもが除雪に参加している。ムネ爺は場所を変え、信号機付近の歩道の除雪にとりかかる。ここでも伊藤星冬くん（2年）が手伝いに来てくれる。ムネ爺の生命に危機を感じたのかもしれない。雪だるま一歩手前のムネ爺を見て、「ありがとうございます」「かぜをひかないでください」と声をかけて通り過ぎていく神中生の多いこと。ようやく雪も片付き、生徒と一緒にムネ爺も校舎内に入る。昨日、3年生の学級委員は朝の挨拶をしながら「自分から進んで除雪をしているところがすごいです」「感謝しています」と、話をしていた。きっと、「僕たちも去年はこうだったんだなあ」と思い出していたのかもしれない。神中の良き伝統は、確実に後輩に引き継がれている。



渋滞注意

大雪により除雪が追いつかない状況もあり、朝・夕の送迎による学校周辺の道路や駐車場が混雑しています。近隣の方々の出勤等にも迷惑がかかっています。

- ① 生徒の皆さんは早起きをして、原則徒歩で登校しましょう。
- ② 除雪されていない歩道が多いので、長靴がおすすめです。
- ③ 生徒を送迎する場合は、南側駐車場は一方通行です。側道から入り、生徒を降ろして大通りに出ます。

ご協力、よろしくお願いします。

